

# ロタウイルスワクチン(ロタテック内用液)の接種を希望される方へ

## <保護者の方へ>

ロタウイルスワクチンの予防接種を実施するにあたって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、以下のロタウイルスワクチンに関する情報を必ずお読みください。また予診票にはできるだけ詳しくご記入ください。

### ○ロタウイルスワクチン ロタテック内用液の概要

- 1 ロタウイルスは、5歳以下の乳幼児にみられる胃腸炎の原因のひとつです。その感染力は強く、一般的な手洗いなどでは予防が難しいと言われています。ロタウイルスによる胃腸炎が重症化すると、本人、家族の方への負担が高まるばかりでなく入院することもあり、また、まれにけいれんや脳炎を引き起こすことがあります。
- 2 ロタテック内用液は、生後6週から32週のお子さんに3回接種するワクチンです。(初回接種は14週6日までにを行うことが推奨されています。
- 3 このワクチンの接種によって、下痢・嘔吐・発熱を伴うロタウイルス胃腸炎を予防することが期待されます。

### ○ロタテック内用液の効果について

ロタテック内用液は、ロタウイルス胃腸炎を予防するとともに、ロタウイルス胃腸炎に伴う医療機関の利用を抑制する効果が確認されています。

### ○ロタテック内用液の副反応について

国内で行われた臨床試験では主に下痢(5.5%)、嘔吐(4.2%)、胃腸炎(3.4%)、発熱(1.3%)などの副反応がみられました(接種後14日間での報告)。また、腸重積症の発症や重篤な症状は認められませんでした。心配なことがあれば、医療機関にご相談ください。

### ○次の方は接種を受けないでください。

- 1 明らかに発熱のある方(通常は37.5℃を超える場合)
- 2 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 3 ロタテック内用液成分(詳しくは医師にお尋ねください)によって、過敏症(通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応を含む)を起こしたことがある方
- 4 腸重積症を起こしたことがある方
- 5 腸重積症の発症を高める可能性のある先天性の消化管障害があり治療していない方
- 6 重症複合型免疫不全(SCID)を有する方。
- 7 その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方

### ○次の方は接種前に医師にご相談ください。

- 1 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- 2 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱の見られた方、または全身性発疹などのアレルギーなどを疑う症状のみられた方。
- 3 過去にけいれんを起こしたことがある方
- 4 免疫機能に異常のある方、またそのおそれがある方、免疫抑制をきたす治療を受けている方、近親者に先天性免疫不全症患者がいる方
- 5 胃腸障害(活動性胃腸疾患、慢性下痢)がある方

## ○ロタテック内用液接種にあたっての注意点

- 1 1回目の接種は生後6週齢以上に行い、2回目、3回目はそれぞれ4週以上の間隔をおいて、32週齢までに3回の接種を終了します。
- 2 ロタウイルスワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、接種を受ける前に医師に相談してください。
- 3 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- 4 予診票は接種する医師への大切な情報です。正確に記入するようにしてください。

## ○ロタテック内用液接種後の注意点

- 1 接種後にアレルギー症状が起こることもありますので、接種後少なくとも30分間は安静にしてください。
- 2 接種後に体調の変化や異常な症状がみられた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。接種後に下痢、嘔吐、胃腸炎、発熱などの副反応が見られることがあります。またぐったりする、泣きと不機嫌を繰り返す、イチゴゼリー状の血便や、原因不明の不機嫌な様子が見られた場合は、腸重積症の可能性があるので、すぐかかりつけの医師へご相談ください。海外の製造販売後の調査では、接種後21日間（主に7日間）はわずかに腸重積症の発現リスクが増加する可能性があると考えられています。この期間はとくに注意してください。

※国内臨床試験で接種後14日間に報告された主な副反応は、下痢（5.5%）、嘔吐（4.2%）、胃腸炎（3.4%）、発熱（1.3%）でした。

- 3 接種当日は過激な運動は避けてください。
- 4 ロタテック内用液の接種日以降に他の予防接種を受ける場合は27日以上の間隔をあけてください。他のワクチンとの同時接種を希望される場合には、医師にご相談ください。
- 5 接種当日の入浴は差し支えありません。
- 6 接種後に母乳を含む固形食及び流動食に関する制限はありません。
- 7 接種後に、ウイルスが便などを介して家族やまわりの方に感染することもあります。おむつを交換した後には手洗いをするなど注意してください。また、次のように免疫力が低下した人と密接な接触がある場合には注意してください。
  - ・悪性腫瘍患者または免疫障害のある人
  - ・免疫抑制療法を受けている人

## ○予防接種被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。（予防接種と健康被害との因果関係を国の審査会にて審議し予防接種によるものと認定された場合）

問合せ先 野木町健康福祉課健康増進係 TEL 57-4171
--------------------------------------